

広報

がわい

NO. 467

平成9年7月10日



新緑のブナに、心、^{かけ}翔る



〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL 0257-68-3111 FAX 0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社 (毎月10日発行)

人口の動き	
— 7月1日現在 —	
男	4,246 (+5)
女	4,327 (-2)
計	8,573 (+3)
世帯数	2,262 (+1)
() は前月比較	

議会 報告

六月二十四日から始まった第四回川西町議会定例会は、二十七日に全日程を終え、閉会しました。

二十四日は、八人による町政に対する一般質問があったあと、郵政事業の現行経営形態堅持に関する請願が所管の常任委員会に付託され、続いて「国民生活に必要な不可欠な公共交通機関の維持確保に関する請願」ほか一件の請願を採択しました。

二十七日には、「町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例」ほか五件の条例一部改正を原案どおり可決。次に、平成九年度川西町一般会計補正予算（第二号）及び四つの特別会計補正予算を原案どおり可決。

続いて、総合体育館大規模改造工事（本体）工事の請負契約ほか二件の請負契約について、原案どおり可決しました。

さらに、「農業基本法の抜本改正に関する意見書」ほか四件の意見書を原案どおり可決しました。

受けよう検(健)診 目指そう健康



明るい笑顔は健康のしるし（ナカゴグリーンパークで）

人口の高齢化や生活環境の変化などにより、住民の健康への意識は高まり、保健医療に対するニーズはますます多様化・高度化してきています。

人生八十年を明るく健やかに過ごすためには、若いうちから健康の基礎づくりが大切です。

平成六年度に県が実施した県民健康調査によると、現在の健康状態が「よい」と思っている人の割合は三十四・一パーセント。将来の健康状態について「心配している」人の割合は六十五・二パーセントで、「心配していない」三十一・一パーセントの二倍となっています。

こうしたことから、「自分の健康は自分で守り育てる」という認識のもと、町民の一人ひとりが自主的に栄養・運動・休養のバランスのとれた健康づくりができるよう、支援体制の構築が叫ばれています。

そこで、今回は、町が進めている健康づくり推進事業の状況を紹介します。ご自身の健康づくりについて、もう一度見つめ直してみてください。

リーダー・組織 の育成と啓発

町では、昭和六十一年に設置された健康づくり審議会を中心として、食生活改善推進協議会、母子保健推進委員、公衆衛生推進協議会などの団体の協力を得て、健康づくりのためのリーダー育成と、社会体育との連携による体力づくり運動の推進にも努めるなど、健康づくりの推進のための全町的な組織育成に努めています。

また、健康や疾病に関する情報を的確に提供するため、医師会など関係機関や団体の協力を得て、健康教育、健康相談などを実施し、知識取得への啓発を図っています。さらに、健康づくり実践百日運動を推進し、一人ひとりが積極的に取り組む健康づくり運動を全町に展開しています。そのために運



町民からカルシウムを摂取してもらおうと、料理の講習を受ける食推のメンバー

動・栄養に関する相談窓口を設置し、疾病者の健康回復と増進を図り、医療機関と保健婦・栄養士活動の連携強化に努め、その指導・実践が図られています。

疾病の予防

三大成人病（がん、脳卒中、心臓病）は、町民死因総数の半数以上を占め、年代別の死因をみると四十〜七十歳では、がん、脳卒中、心臓病の順であり、八十歳以上になると心臓病、脳卒中、がんとなっています。

成人病は、生活習慣病とも言われ、生活の悪習慣の積み重ねにより発病するといわれており、若年期からの健康管理が大切になっています。

また、人口に占める高齢者割合が高いことから、保健指導の対象が高齢者に移ってきています。しかし、少子化・就業構造の変化により、母子保健を取り巻く問題も重要性が増しており、母性保護、子どもの健全育成などの問題も山積しています。

一方、平成九年から、母子保健サービスの提供主体が、原則として県から市町村に一元化され、その体制づくりに向けた取り組みも必要とされています。

成人病三大死因による死亡者の推移

項目	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年
悪性新生物	14人 20%	23人 28%	18人 20%	20人 23%	15人 18%
心疾患	16 22	12 14	12 14	18 21	14 17
脳血管疾患	14 20	10 12	12 14	18 21	21 25
計	44 62	45 54	42 48	56 65	50 60
死亡者総計	71 100	83 100	88 100	86 100	84 100

これらの状況の中で、健やかな老後を迎えるため、従来の疾病予防の早期発見・早期治療という「二次予防」とともに、今後は発病予防、健康増進の「一次予防」と、リハビリテーションの「三次予防」にも力を入れることが必要となっています。

そのために、一人でも多く検診などを受け、早期発見に努めていただきたいものです。

健康診査事業

① 住民検診

十六歳以上が対象で、基本的には問診、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図検査、眼底検査、診察などを行っています。受診者が年々減少している傾向にあり、受診者の総合判定状況においては、成人病予備軍である「要指導」の割合が横ばいとなつてはいるものの、今まで以上に栄養・運動・休養のバランスのとれた健康管理が必要で

また、平成八年度の住民検診の結果を年齢別にみると、七十歳代の数値が、高血圧と心障害を除いて、減少傾向にあり、高齢者医療の成果が現われてきています。しかし、六十歳代の層は、心障害を除いて、いずれの部門においても最大の数値を示



保育園入園前の子どもたちが集まって遊んだり、意見交換などをしたりする「すくすく教室」

② がん検診

胃がん・肺がん・子宮がん、乳がん、大腸がんなどを実施しています。

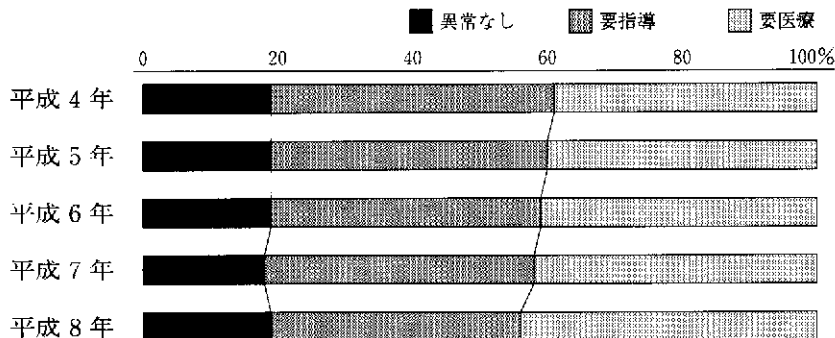
胃がん検診は、平成四年度から八年度の五年間で延べ四千二百三十六人受診し、十四人の胃がんが発見されました。そのう

成人病検診状況の推移

単位：人

年度	胃がん検診				子宮がん検診		基本健康診査			
	受信者数	要検者数	異常なし	異常者数	受信者数	異常者数	受信者数	異常なし	要指導	要医療
平成4年	943	213	803	136	316	0	2,274	435	946	893
平成5年	876	169	805	61	310	2	2,097	390	865	842
平成6年	891	143	830	61	281	0	2,049	390	827	832
平成7年	837	109	766	61	290	1	1,995	366	797	832
平成8年	719	103	653	56	286	0	1,920	357	711	852

住民検診総合判定状況の推移



	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年
異常なし	435人	390人	390人	366人	357人
要指導	946	865	827	797	711
要医療	893	842	832	832	852

平成8年度 住民検診結果

	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
境界域高血圧	5.8%	13.0%	14.6%	34.0%	31.6%
高血圧	0.0	4.3	4.6	15.7	12.0
心障害	1.1	3.9	8.4	18.8	19.3
動脈硬化	0.0	0.5	0.8	3.0	1.7
高脂血症	13.2	20.8	44.8	56.1	23.0

ち十人が早期がん、四人が進行がんとなっています。進行がんのうち、二人は、過去三年間未受診の方でした。

③ 人間ドック
昭和六十一年から実施している町の人間ドックは、年々受診者が増加しています。その要因は、全ての検査が一日で済み、検査内容も多いということにある。

④ データーバンク事業
平成八年度から新規に取り組みをしているもので、保健婦と在宅介護センターのホームヘルパーが、コンピュータに蓄積された老人訪問の記録を、国保診療所医師にもその情報が活用できるように、コンピュータのネットワークを拡大するものです。

これは、全国においても先進

⑤ 骨密度検診
平成八年度から実施している検診で、寝たきり原因の第二位と言われる骨粗鬆症の早期発見と、予防に努めていきたいと考えています。

⑥ 骨密度検診
平成八年度から実施している検診で、寝たきり原因の第二位と言われる骨粗鬆症の早期発見と、予防に努めていきたいと考えています。

〈予防接種事業〉

伝染病の発生を未然に防止するため、予防接種の必要性を周知し、接種を勧奨しています。

ツベルクリン、ポリオ、日本脳炎、三種混合・二種混合、風しん、麻疹などがあります。

〈う蝕予防事業〉
八十歳で二十本の歯を保つことを目標にしています。保育園、小学校でのフッ素洗口や妊婦歯科検診、乳児検診、学校・園歯科検診などを実施しているため、県や管内と比較しても、むし歯になっっている率、一人平均むし歯数、処置歯率とも良好といえます。



千手小学校で実施された日本脳炎予防接種

〈母子保健事業〉
健康な子を産み、育てるため、新生児訪問、離乳食相談、乳幼児健康診査や、すくすく教室などを開催。母と子一体となった健康管理を考え、母子の健康保持はもちろん、保健思想の普及を図っています。

健康づくりを考えるとき、まず最初に必要なのは、自分の健康状態を知ることです。その方法が検（健）診です。

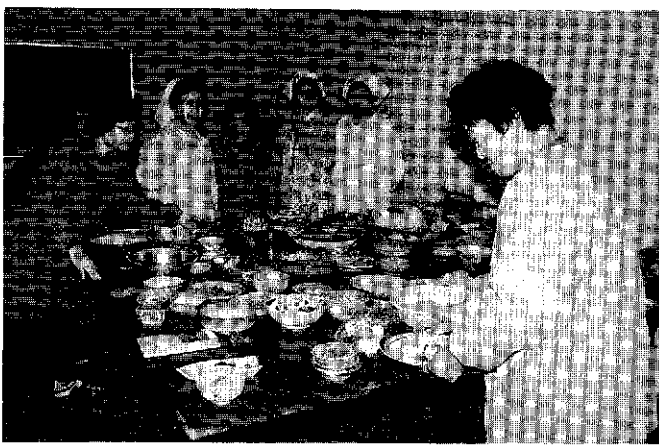
検（健）診は、健康づくりの第一歩です。積極的に受診するようにしましょう。

地域づくり

応援します

この事業は、町内の各種団体やグループが、それぞれの地域の特性や資源などを活用して、個性的で魅力ある地域づくりを実施する場合に助成し、住民自ら実施する地域づくりを応援するものです。

平成六年度からスタートしたこの事業は、三か年で三十二件・千三百万円が助成されています。本紙四月号で、平成九年度事業を募集したところ、五団体から応募があり、内容審査の結果、下表のように決定しました。



風無草の会とふるさと料理研究会が「ふるさと暮らしと食べ物」を1年がかりでまとめました

番号	申請団体	事業費・場所	内 容	事業費	補助金額
1	山之根長寿会 代表 高橋敬三郎 会員 113人	《事業名》 山之根長寿会ゲートボール場造成事業 《場所》 霜条地内	《アピール》 1 山之根長寿会のゲートボール場を自主造成する 2 ゲートボールを通して地域高齢者の親睦を図る 《内容》 1 ゲートボール場の造成 1面 2 排水溝 1式 3 土工、敷き均し 各1式 4 防球ネット 1式	千円 417	千円 181
2	大字水口沢 代表 石澤 實 会員 70人	《事業名》 羽黒山ふれあい小道整備事業 《場所》 羽黒山	《アピール》 1 羽黒山の神社跡地を地域の憩い場に整備 2 羽黒山権現祭りの実施（カラオケ大会など） 《内容》 1 敷地内の古株、枯倒木を撤去して広場を整備 2 丸太を利用した周遊階段を整備 3 羽黒山の由来や伝説などの立看板設置	802	481
3	フラワーメイト 中仙田 代表 小林義幸 会員 80人	《事業名》 中仙田地内国道を美しくする事業 《場所》 国道403号線沿線及びアメニティ公園	《アピール》 1 国道403号線を通るひとが楽しくなる道にする 2 アメニティ公園の周辺環境を美化する 《内容》 1 国道403号線中仙田沿線350メートルに約800本の花を植栽 2 アメニティ公園に約300本の花を植栽し、散水施設、駐車場整備をする	252	151
4	川西町民話研究クラブ 代表 高橋直人 会員 8人	《事業名》 「川西の民話・伝説」ビデオ制作事業 《場所》 町内全域	《アピール》 1 川西町に残る民話・伝説を絵や実写で再現 2 完成ビデオを各学校などに配布して教材に活用 《内容》 1 千手、上野、橘、仙田各地に残る民話・伝説を一話ずつ選出し、ビデオ化 2 製作に各小学生も参加し、さし絵の制作や、実写場面に出演 3 ビデオを小学校教材に利用、公民館で貸出し	162	96
5	写真衆かわにし 代表 羽鳥宏史 会員 30人	《事業名》 冬の白倉フォトハイキングin白倉 《場所》 町内一円	《アピール》 1 「日本一美しいむら」に選出された白倉の再発見 2 美しい川西町の風景を内外にPRする 《内容》 1 中央の写真家を招いての写真教室 2 白倉や、星名邸を対象に写真コンテストを実施 3 入賞作品を雪祭りなどに展示 4 写真原版は、町の様々なパンフレットなどに活用	675	327

地域活性化プロジェクト支援事業

後期分の募集をします

今後、この事業を活用して地域づくりを実施する計画がある団体などは、次により後期分の募集をしますので、奮ってご応募ください。

☆応募締め切り 8月31日

☆問い合わせ及び応募先 役場開発課振興係 ☎68-3111 内線312

一流アーチストの演奏に酔う

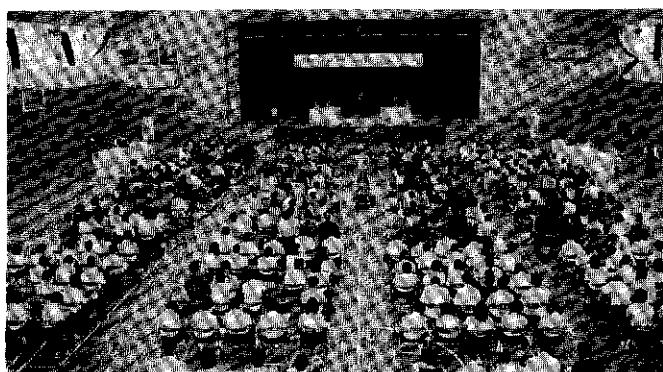
六月十六日、サンパレスナカゴで、「ジャズインナカゴ」が開催され、町内外から二百五十人が集まり、一流アーチストによるトランペットなどの演奏に酔いしれました。

この催しは、ジャズインナカゴ実行委員会（町内の有志で組織）の主催で実現したもので、ジャズの魅力を知ってもらおうと企画。日本のトップトランペット演奏者であり、世界的にも有名な日野皓正さんと、そのメンバー五人を招いたものです。

およそ三時間半（二部・二部）の演奏では、日野さんがおどけたり、冗談を言って笑わせたりして、大きな舞台での演奏とは違った意味で、観客と一体となった盛り上がりを見せ、観客も夜がふけるのも忘れて、ジャズの魅力を堪能しました。



日野さん（中央）とメンバーの演奏が、集まった人たちを魅了します



デンマークの福祉の実情を報告したパネルディスカッション

先進福祉に学ぶ

六月二日、川西中学校体育館で、国際交流福祉セミナーが開催されました。この催しは、深刻な高齢化の現状を踏まえ、福祉国家デンマークの福祉を直接デンマークの関係者から学ぶというところで、十日町圏広域福祉事業推進協議会（水野寛男会長）が日欧文化交流学院校長の千葉忠夫さんら三人を招き、シンポジウム形式で開かれたもの。

およそ五百人の参加者は、「日本では税金が高いと言われているが、無料の医療や教育、福祉として返ってくるので当たり前のこと」、「ホームヘルパーが交代で駐在して、老人が普通の生活をする高齢者住宅の建築が進んでいる」という、デンマークの福祉の現状について学びました。

大自然が舞台、一打に一喜一憂

六月十五日、ナカゴパターゴルフ場を会場に、第一回町長杯パターゴルフ大会が開かれました。

当日は、町内外から百二十人が参加。日ごろの練習の成果を確かめながら、あるいは賞ねらいに徹して？ それぞれの思いを胸にコースに出ていきました。結果は次のとおりです。

● 男性の部

一位 中村卯一さん（坪山）

● 女性の部

一位 石野代美子さん（十日町市）



大自然を舞台に、一打一打に歓声が沸き上がっていました

町では、「住民の多様な要求にこたえる生涯学習の推進」を図るため、各種の事業を進めています。生涯学習は、人それぞれが自分の生き方に合わせて、いろいろなことを楽しく、気軽に学び教える、健康で生きがいを持つこと。また、いつでも、どこでも、だれでも行うことができるものです。今年度開設されている関連事業の中から、その一部をのぞいてみました。

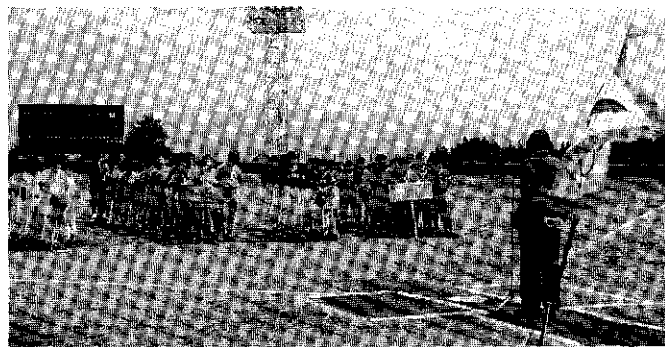


▲川高で開かれたファミリークッキング教室

▼千手小で開かれているパッチワーク教室

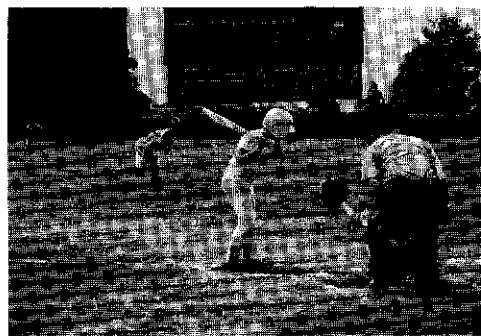


生涯学習事業「ちよっとはいけん」



▲宮 川西町スポ少本部長から激励を受ける町予選会開会式

▼1試合、1試合が手に汗を握る熱戦でした



六月七日、庚塚野球場で、第十九回県スポーツ少年団軟式野球交流大会中越大会川西町予選会が開催され、千手タイガースと橘ドラゴンズが、町予選会に駒を進めました。六月十四日、同野球場と川西中学校で、同大会の町予選会が開かれ、町からの二チームと、津南町一チーム、中里村一チームが、中越地区大会出場をかけて対戦しました。結果は、津南町の笹沢ベアーズが優勝、中越大会に進むことになりました。

頑張れ未来の甲子園球児



今が見ごろです！

松葉沢シヨウブ園に

おでかけください。



「グリーンムード」で交流会

六月二十一、二十二日と、上野集会所をメイン会場に、「グリーンムードねっとわーくしよっぶ'97かわにし篇」が開催されました。この催しは、YAROUKAI

また、風無草の会による手づくり料理「グリーンムードばーど」も繰り広げられ、参加者をもてなしていました。

(やろう会・上村保弘代表・会員二十七人)が主催したもので、吉川町の「夜なべ塾」、三島町の「ふるさと塾」の会員を迎え、交流事業が展開されました。地球、環境、景観、緑化といったグリーンムードをキーワードに、意見交換や町の各集落の人が案内したり、通学路に花を植栽したりする「グリーンムードわーきんぐ」も実施されました。



通学路に花を植える準備が進められていきます

町 職 員 募 集

(採用試験実施要綱)

一般事務 初級 採用の予定
 申込受付 若干名 8月15日まで
 (郵送消印は8月15日まで)

町では、平成十年四月一日採用の一般事務職員(初級職)若干名を次により募集します。

【受験資格】

昭和四十八年四月二日(五十五年四月一日生まれの人)

【試験の日時と場所】

1 一次試験(県人事事務組合が
 する試験)

試験日 九月二十一日(日)

受付時間 午前九時～九時四十
 分

試験場 長岡市南町二
 長岡市立南中学校

【試験の方法】

高校卒業程度の内容で、地方公務員として必要な一般的知識と知能について、択一式の筆記試験と作文試験及び事務適正検査を行います。

携行品 受験票、HB鉛筆、消し
 ゴムなど。ボールペンや
 万年筆使用は無効

合格発表 十月中旬ごろ

2 二次試験

試験日 十一月上旬ごろ(一
 次試験合格者に別途
 通知)

試験場 川西町地域活性化セ
 ンター

方 法 面接試験

【採用日】

平成十年四月一日

【受験手続き】

申込書の請求先 役場総務課
 行政係

【申込書の提出】

受験申込書に所要事項を記入押
 印。写真(縦四cm×横二cm無帽
 ・正面上半身)一枚をはり、ほ
 か二枚を添えて役場行政係へ。

【申込書の受付期間】

八月十五日まで(郵送の場合、
 消印は八月十五日まで有効)

【問い合わせ先】

役場総務課行政係
 ☎六八―三一一

「知事とのさわやかトーク」を 開催いたします

県では、皆様から県政に関する幅広い
 ご意見・ご提言をお聴きし、県政に反映
 するため、下記により「知事とのさわや
 かトーク」を開催いたします。

当日は、参加された方からご発言いた
 だき、知事が答える形で進められます。
 どうぞ、お気軽にお出かけください。



- 日 時 9月2日(火) 午後1時30分から3時30分まで
- 会 場 十日町地域地場産業振興センター(クロス10) 大ホール
- 参集範囲 十日町市、川西町、津南町、中里村、松代町、松之山町
 にお住まいの人
- ご発言を希望される方へ
 当日、「こんなことを話したい」ということがありまし
 たら、7月25日(金)までに役場総務課文書広報係へご連絡
 ください。
- そ の 他 手話通訳付き
- 問い合わせ先 役場総務課文書広報係 (☎68-3111 内線305) または、
 県庁広報広聴課広聴係 (☎025-285-5511 内線2116)まで。

ほくほく線海水浴列車運行

次のとおり、海水浴列車を運行します。

■運 転 日

7月20日(日)、21日(祝)

26日(土)、27日(日)

8月2日(土)、3日(日)

9日(土)、10日(日)

■運転区間

六日町駅から、ほくほく線經由で信越線柏崎駅まで。

■停車駅と運転時刻

(往路)

十日町⇒米山⇒笠島⇒鯨波

9:44 10:51 10:56 11:03

⇒柏崎

11:08

(復路)

柏崎⇒鯨波⇒笠島⇒米山

16:17 16:21 16:27 16:31

⇒十日町

17:53

■問い合わせ先

北越急行(株)営業開発室

☎0257-70-2820

十日町地域広域事務組合 職員募集

(採用試験実施要綱)

消 防 士 6名程度 採用の予定

申込受付 7月16日～8月8日まで

(郵送消印は8月8日まで)

平成十年四月一日採用予定

【受験資格】

○高等学校卒業者で、昭和四十七年四月二日以降に生まれた男子(平成十年四月一日現在二十五歳以下の人)

○身長一六〇センチ以上、胸囲はおおむね身長二分の一以上、体重は五〇キログラム以上、視力は両眼の場合〇・八以上、一眼の場合それぞれ〇・五以上(矯正視力可)で色神正常、そのほか身体強健で体質上欠陥のない人

○十日町地域広域事務組合管内(十日町市、川西町、津南町、中里村、松代町、松之山町)に居住可能な人

【試験の日及び方法】

○一次試験 八月二十四日(日)(場所及び時間は受験者に別途通知)、試験は地方公務員として必要な

一般知識・教養と体力診断テストを行います。

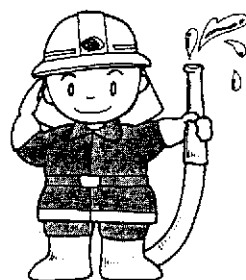
○二次試験 九月上旬(場所及び時刻は一次試験合格者に別途通知)、口述試験と身体検査を行います。

【受験手続き】

十日町地域消防本部や、消防署西分遣所などに備え付けの受験申込書に、最終卒業学校の成績証明書を送付し、十日町地域消防本部総務課(☎五七一一五五)に提出してください。

【合格発表】

一次、二次試験とも受験者に合否を通知します。



施設職員募集

社会福祉法人「妻有福祉会」では、精神障害者入所授産施設(十日町市に新設)に勤務する、平成十年四月一日採用の施設職員を次により募集します。

【募集職種、採用人員及び受験資格】

○精神科ソーシャルワーカー 一名

昭和三十七年四月二日以降生まれで、社会福祉士又は社会福祉主事の資格を有する人(来春資格取得見込者を含む)

○作業指導員 一名

昭和三十七年四月二日以降生まれで、作業療法士の資格を有する人(来春資格取得見込者を含む)

○事務員兼作業指導員助手 二名

昭和三十二年四月二日以降生まれで、高等学校卒業程度の学力を有する人

【各職種共通条件】

①十日町市、川西町、津南町、中里村、松之山町、松代町に在住又は在住予定で、通勤可能な人
②自動車運転免許を有する人

【提出書類】

(1)職員採用申込書
(2)卒業証書の写し、又は卒業(見込み)証明書
(3)免許、資格を有する証明書の写し
(4)返信用封筒(住所・氏名を記入し、八十円切手を添付)

【試験の日時と場所】

1 一次試験

試験日 九月二十一日(日)

受付時間 午前九時～九時二十分

試験会場 十日町市土市三

水沢地区公民館

内 容 一般試験、適性検査

合格発表 十月上旬ごろ

2 二次試験

試験日 十月二十二日(水)(二次試験合格者に別途通知)

【申し込み手続き】

(1)受付期間

八月十五日まで(郵送の場合、消印は八月十五日まで有効)

(2)申し込み・問い合わせ

〒九四九一八五

十日町市幸町

養護老人ホーム「妻有荘」内

精神障害者入所授産施設建設準備室

(☎〇二五七―五八―二〇五〇)



しわ犬の愛称は、

『ニシ丸』と決定

町の観光ボスターや、イベントなどでおなじみの、「しわ犬」の愛称を募集したところ、二十四点の応募がありました。

この度、町職員十六人と、かわにし21委員会の委員十人による投票による選考が実施され、その結果、「ニシ丸」と決定されました。

選ばれた理由は、①選考委員による得票が最も多かったこと。②しわ犬の品種であるシャ・ペイ犬の特徴などを直接表現はしていないものの、ひとひねりしていることがかえって犬を想像させ、「皮にシワ」のコピーとマッチしていること。③「かわにしは丸くおさまる」・「かわにし丸号」で新しい船出をする」という、二十一

世紀に向けたメッセージとしても見てとれる、ということからです。

採用に決定された愛称を応募された方は、和久井佐百合さん（木落）で、和久井さんにはマグカップとイヌとナカゴのテレホンカード各一点を、応募者の中から抽選で、相崎アサ子さん（中島町）にはテレホンカードが、小黒幸世さん（木島）にはマグカップが贈られます。



安全な花火遊びのために

花火の季節になりました。子どもたちにとっては、家庭で遊べるおもちゃ用の花火も楽しみの一つです。

おもちゃ用の花火は、線香花火からロケット花火まで種類も豊富でも、注意して取り扱わないと危険です。花火をするときは、必ず大人が付き添って、危険のないよう

- うに注意することが大事です。そして、次の約束を守らせましょう。
- 1 花火遊びは大人と一緒に
- 2 広い場所で遊びましょう
- 3 風の強い日はやめましょう
- 4 花火の注意書きを守りましょう
- 5 水の入ったバケツを用意しましょう

図書

案内

総合センター内の公民館図書室では、順次新刊を整え皆さんのおいでをお待ちしています。どうぞご利用ください。

また、図書室に収蔵してもらいたい書籍など（雑誌、文庫本は除く）がありましたら、町教育委員会社会教育係（☎六八一二一六七）にご連絡ください。

- 北の狩人 大沢在昌 幻冬舎
- 老いは迎え討て 田中澄江 青春出版社
- きみのためにできること 村山由佳 集英社
- 教科書が教えない歴史 藤岡信勝 産経新聞社
- 自分をまもる本 ローズマリーストーンズ 晶文社
- 少年H 上・下 妹尾河童 講談社
- 小さな文学の旅 漆原智良 金の星社
- ティーンズの生き方を見つける本 松原哲明 金の星社
- 名作へのパスポート こやま峰子 金の星社
- 読書はパワー スティーブンクラッシュエン 金の星社

○新潟県の地名 馬場信彦 野島出版

○住まい方の実践 渡辺武信 中公新書

○「満州駅伝」娘に語る祖国 つかこうへい 光文社

○娘に語る祖国 つかこうへい 光文社

○子どもたちはワハハの俳句探偵団 佐藤広也 労働旬報社

○すべての怒りは水のごとくに 灰谷健次郎 倫書房

○平気であそぶをつく人たち M・スコット・ベック 草思社

○ねじめの長嶋茂雄 ねじめ正一 東京新聞出版局

○宇宙は卵から生まれた 池内了 大修館書店

○癒しの時代をひらく 上田紀行 法蔵館

○沢村貞子波瀾の生涯 中島信吾 岩波書店

○失楽園 上・下 渡辺淳一 講談社

○パンダの an・an 小泉今日子 マガジンハウス

○アンダーグラウンド 村上春樹 講談社

○家族シネマ 柳美里 講談社

○私が書いた14歳の遺書 原くるみ 講談社

○日本国の研究 猪瀬直樹 文芸春秋

カメラさんぽ



6月18・19日に実施された第28回フレッシュバレーボール大会

結果

- 一位 あいとんSSC（中仙田）
- 二位 サンライズFC（朝日町）
- 三位 ママチーズ（仁田）
- 四位 パーブル三箇（三箇）



6月8日に開催された県スポーツフェスティバル中越地区ターゲットバードゴルフ大会（ナカゴ）

川西町への歩み①⑦

岩瀬金子幸作

明治34年の合併勧告

市町村制の施行時に行われた町村合併は小規模な町村を大幅に解消したが、それでもなお、全県的に見た場合は小規模な町村が多く残っていた。このため、明治三十四年に新潟県が打ち出した独自の合併構想は、さきの大合併によって生まれた県内八一六か町村を一挙に四五六町村に統合しようとする画期的なものであった。

新潟県知事柏田盛文はこの合併構想を県参事会に諮問し、さらに関係町村会や郡参事会の意見を聞いて検討し、中魚沼郡役所をととして次の合併案を明示した。

- ①中野村 千手町村 吉田村を合併して「千手村」とする。
- ②橋村、上野村を合併して「上野村」とする。
- ③仙田村は独立の資力があり、現行のまま据え置く。

川西郷の合併もめる

柏田知事の合併勧告をうけて、ひとまわり大きくなることを夢見た上野村は、橋村との合併を村会が満場一致で賛成した。しかし、橋村は上野に主導権をとられるこ

とを心配してこれに反対し、郡参事会も橋村の願いを入れて一村据置の意見を知事に答申した。

中野村、千手町村、吉田村の合併について、中野村は大字高平原と坪山がこの案に賛成したが、霜條、鶴吉、伊勢平治、友重の四集落は橋村を除く上野村との合併を希望し、郡参事会も中野村が二分するこの案を支持した。

千手町村は三村の合併には反対で、中野村全村との合併を望んだ。吉田村も三村の合併に反対し、新しく鐘島村、眞田村と合併することを希望した。

こうした事情から、関係町村や集落ごとの交渉、かけひきがしだいに激しくなり、事態を收拾したい郡参事会はそれぞれの言い分を聞き、柏田知事に次のように上申した。

- ①上野村と中野村(大字高平原、大字坪山を除く)を合併する。
- ②千手町村と、中野村のうち大字高平原、大字坪山を合併する。
- ③吉田村は鐘島村、眞田村と合併して「吉田村」とする。

請願陳情が相次ぐ

県の示した合併構想がうまくい

かないと知った柏田知事は、あらためて新上野村(中野村のうち大字坪山、高平原を除く)と橋村の二か村が合併、千手町村と中野村の大字坪山、高平原を含めた吉田村との合併を諮った。関係町村はこの案を協議したが、合併にともなう利害得失が表面化して請願や陳情が相次ぎ、この統合案は実現されなかった。

大字上野、下平新田、新町新田、三領、星名新田、小根岸の六か字から次の請願が出ていた。

「上野、橋ノ合併ハ地勢不便ニシテ合併ノ実弊ラズ。中野村全村ヲ挙ゲテ上野村ニ合併セラレント云フニアリ、郡参事会ノ大字分轄ハ入会山、水利、共用財産ヨリ考ヘテモ不都合ナリトス」。

橋村の大字仁田、大字野口から次の請願が出ていた。

「上野村トハ、民情、風俗、職業、生活ニ差異アリ合併ヲ許サザルノミナラズ、独立ノ資ヲ有スルヲ以テ本村ハ独立ヲ希望ス」。

中野村大字鶴吉、霜條、伊勢平治、友重、弘道新田、宗正の人民総代が次のように請願している。「郡参事会ノ議決ノ通り、上野村へ合併セラレタシトシテ再願書ヲ提出セリ」。

中野村、上野村の両村陳情委員は次のように見解をのべている。「水利、山菜、風俗、民情等ニヨリ、中野村ト上野村ノ合併ヲ相当トス」。

伊友地区の合併騒動

このようにくりかえされた請願陳情は、合併の是非をめぐる関係の村々を大きくゆさぶった。

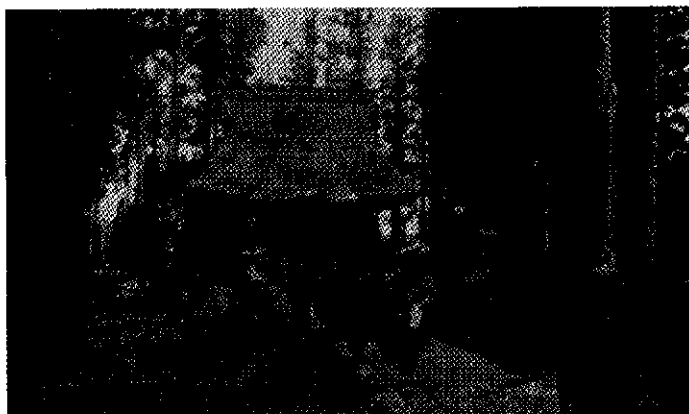
中野村のうち伊勢平治、友重の二集落は、かねて希望していた上野村への合併について、同村への合併を希望するに異論のないことを改めて確認し、明治三十四年七月十五日の盟約書には五三戸が捺印している。しかし、村内の坪山、霜條、鶴吉へ行くにも、千手町村の本村へ行くのとさほど変わらない地点に在るこの二集落は、弘道新田も交えて協議を重ねるたびに中野村据置、上野村、千手町村への分村などを強く希望する者が相次ぐようになった。ひとつ屋根の下で親子の意見が分かれる家もあったりして集落内が騒然となり、虚々実々のかげひきや裏工作が行われ、仕事も手につかない混乱が二年近くも続いている。

大山鳴動して

県内から注目された伊勢平治、友重の合併騒動は、いずれの村に合併するかについて住民投票を行う事態(三十八年二月二十六日)にまで進展した。中野村据置か、それとも上野村、千手町村のいずれかに分離するかについて投票した結果は次のとおりであった。

これまでどおり中野村据置を希望する。 二六票

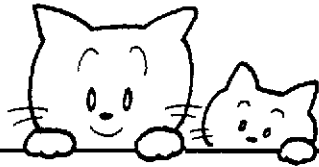
大正年代の千手観音御開帳
(長徳寺蔵)



上野村か、または千手町村に分離合併したい。 二九票

右のうち、千手町村へ合併したいと投票した者 一一票
どっちに合併するか、親子で意見の分かれた家 三票

この投票は合併問題をさらに混乱させたが、結局は、大山鳴動してなんとかかのように、これまでどおり中野村でゆくことになった。県や郡は、合併推進のためなおも関係村の意見を求めて調整指導にのり出したが、川西地区の合併構想はついぞ日の目を見ないで終わったことになる。



「千手温泉」

営業時間変更のお知らせ

千手温泉では、10月31日までの間、営業時間を一時間延長しましたのでご利用ください。

入浴できる時間

午前10時～午後10時まで

(入浴される方は、午後9時30分までに入館ください。)

お知らせコーナー

県政のテーマバス参加者募集

県の施設や事業を見学してみませんか。

日程・実施地域

○回	出発地	実施日	テーマ(主な見学施設・事業)
1回	新潟	7/22(火)	高齢社会への対応(特養向陽の里、コミュニティホームモデル事業)
2回	新潟	7/24(木)	心身障害福祉への対応(新潟ふれ愛プラザ、コロニーにいがた白岩の里)
3回	上越	7/29(火)	高齢社会への対応(クアハウス至徳路、特養新光源)
4回	上越	8/21(木)	地球にやさしい雪利用(温泉交流施設電神の里、雪だるま物産館)
5回	長岡	8/26(火)	高等教育機関の充実(長岡造形大学、新潟工科大学)
6回	新潟	8/28(木)	埋蔵文化財の発掘と活用(埋蔵文化財センター、八幡山遺跡)
7回	新潟	9/2(火)	高度技術への取り組み(工業技術総合研究所、食品研究センター)
8回	上越	9/18(木)	生活を支える基盤整備(関川災害復旧助成事業、地すべり資料館)
9回	長岡	9/25(木)	農林水産業の振興(農業大学校、農業総合研究所)
10回	新潟	10/11(土)	生涯学習の推進(産業振興センター、ハイブ長岡、小出郷文化会館)

- ▶定員/50人(申し込みが定員を超えた場合は抽選)
- ▶申し込み/往復はがきに、「○回県政テーマバス参加希望」と明記のうえ、住所、氏名、電話番号を記入し、実施日の10日前までに県広報広聴課まで。折り返し、出発場所などをご連絡します。

◎詳しくは、県広報広聴課(☎025(285)5511<内線212>)まで。

インターネット総合講座を開設します

●日時・会場・時間

期日	時間	会場	募集
8月8日(金)	19:00～21:00	津南町中央公民館	7組
18日(月)	19:00～21:00	松代町総合センター	7組
19日(火)	19:00～21:00	川西町地域活性化センター	7組
30日(土)	16:00～18:00	クロス10大ホール	7組
	19:00～21:00		7組
31日(日)	13:00～15:00	クロス10大ホール	7組

●内容

会場内で、コンピューターネットワークによるインターネットの世界を再現し、そこでインターネットを活用した具体的な事例に疑似体験していただきます。

●参加資格

十日町広域圏(十日町市、川西町、津南町、中里村、松代町、松之山町)にお住まい(お勤め)の方ならどなたでも結構です。パソコンを使っている日本語入力経験のある方が望ましいです。グループでの参加もOKです。

●参加料

無 料

●申し込み・問い合わせ先(電話又は電子メールで)

参加希望口(会場)を確認のうえお申し込みください。

十日町市役所企画人事課企画室

(☎0257-57-3111 内線215)

総合体育館を大規模改修

総合体育館の音響及び照明の改善、屋根改修などの大規模改修工事を着工したので、アリーナ、2階のランニングコースの使用ができなくなります。工期は4か月間です。長い期間ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、柔道場及び剣道場、トレーニング室については、従前どおり使用が可能です。

第一回中子杯ゴルフ大会参加者募集

■日時

7月20日(日) 雨天決行

午前7時30分～8時 受付

午前8時15分 スタート

「ナカゴグリーンパーク」ショートゴルフコース

■会場

54人

■募集定員

千五百円

■参加費

申し込み締め切り 定員になり次第

■申し込み・問い合わせ先

「ナカゴグリーンパーク」サンプレスナカゴフロント

☎六八―四四一九

第一回十日町矯正展

(刑務作業製品展示即売会)

■日時

7月19日(土)

午前10時～午後6時

7月20日(日)

午前10時～午後6時

十日町クロス10

●催物内容

家具製品、金属製品、革製品、木彫製品など、全国の矯正施設から、およそ三千点を出品。

善意

(敬称略)



かわいし
仲良
高崎正風選

一般寄付
池竹久武(原田) 五万円

表紙の写真

六月八日、二六公園において、十八か国、十八人の在日外国人演奏家による「ウェルカム・ビッグ・コンサート(主催・同コンサート実行委員会「小林重則会長」)が開かれました。

これは、例年この時期に実施していた「ブナ林まつり」を、同公園野外ステージの柿落し記念公演として、趣向を変えて開催されたもので、町内外からおよそ九百人が新緑のブナ林の下、世界の音楽を楽しみました。



ブナの日陰でコンサートを楽しむ聴衆

初夏の十二時間の飛機の旅
夏雲の地球隠せる飛機の窓
霜条 星名 星光
身障の子等の作てふ簾買う
初胡瓜濡れたるまをを仏壇に
野口 村越 由喜

台風の去りし昼顔花ざかり
台風一過驚くほどのゴミ残し
綾瀬市 野沢ますえ
空梅雨の茄子に刈草寄せやりし
孫呼んで真赤ないちごもぎにけり
小白倉 田中 優美
友の皆を美しく古い里若葉
酌みかわす友童心や遠蛙
足立区 涌井ハル子

勿体なや田の半分は植えもせで
台風のそれで恵みの通り雨
高倉 斎木 和人
また一ツ咲いて客待つ花しようぶ
ありし日を偲ぶ今宵の初螢
赤谷 小林 哲

おもちゃ箱ひっくり返し梅雨ごもり
喜々としてむらがる子等やぐみ熟る
小白倉 江口みゆき
石越えて太々出でし今年竹
仏法僧鳴くとて窓を開け放つ
寺尾 白井すみい

青田風北窓開けて入れにけり
サイレンの注意予報や梅雨出水
山野田 藤田ひろ志
ぐみ熟れて小鳥来ている梅雨時
薬にとドクダミ吊りし窓迎かな
八王子市 松浦 サク

大雷のどすんとすんと不気味かな
屋上のビヤガーデンに星仰ぐ
霜条 大海 白濁

朝顔に隣り親しき垣根かな
宅配で送る土産の毎だんご
大倉 中条 石平
大輪の夢を咲かせて菊芽挿す
長生きをせよと新茶を送らるる
新町新田 若山 向山

万緑の皇居に越後人散りぬ
御奉仕の道灌堀の草いきれ
上町 高橋 頼似
老いて尚若き心や白牡丹
きらきらと朝の万緑雨あがる
伊勢原市 金子 桂吉

若返る思いや粽食う度に
垣越しにだんご粽の出来を問う
高原田 引間 子舟
初もぎの妻の掌に乗る茄子二つ
元町 田畑 旭昇
嘔りをききつつ行ける山の道
野口 村越 幸

白百合の薫り豊かに治療室
山毛櫨林より青田見て懐かしむ
相模原市 佐藤 周三
園の梅見る孫うめのような類
府中市 喜多 保

桜桃の一つを口にころがして
練馬区 須藤 遊人
青芝にコ口と呼ぶ犬抱く少女
野口 五十嵐トラ
仏壇にはらりとこぼれ白牡丹
野口 野沢 静江

寸評 正風
夏雲の——大景を大胆に詠んでい
て快い。それにしても「地球隠せ
る」という表現はうまい。勿論飛
行機は雲の上を飛んでいるのであ
る。

身障の——「簾かな」ではなく、
「簾買う」によって作者の心持ち
が表われている。

幼児の医療費助成事業

改正のお知らせ

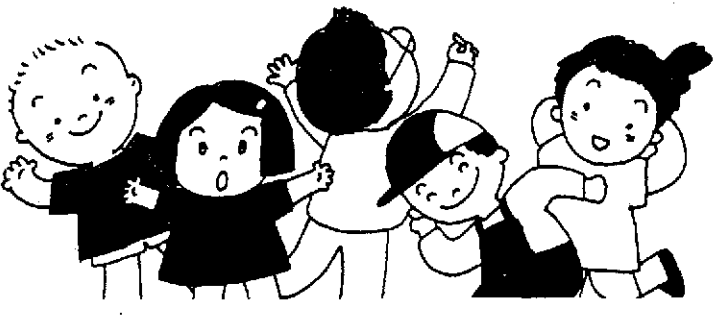
町では、平成八年八月一日から、安心して子どもを生み育てる環境整備の一環として、一歳児を対象とした医療費の助成をしているところとす。しかし、今年度から対象年齢の引き上げや所得制限の緩和を実施するなど、一部を改正してより一層の充実を図ることになりました。

(3) 助成申請書を役場に提出する。

以上の手続きによって一部負担金を差し引いた額を払い戻します。※一歳児、二歳児の子どもさんが入院した場合は、遠慮なく手続きにおいてください。問い合わせ・照会先 役場 住民課保健係

◆入院医療費の助成概要
【対象年齢】
一歳児及び二歳児
【助成対象者】
児童手当の給付を受けている幼児の保護者
【助成対象期間】
平成九年四月一日以降の入院

【助成申請手続き】
(1) 入院時に役場で幼児医療費受給者証の交付申請をする。
(2) 医療機関に受給者証を提示して助成申請書に証明をしてもらう。



戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

たかさご—ご円満に
（滋野 伸男 野口 星名 瑞穂 十日町市から）

小海 司 博 純子 小根岸

鈴木 万由 秀人 山野田宅

高橋 奈々 敦 赤谷

今藤 慎吾 琢也 上野

村越 玲菜 泰広 野口

村越 玲美 泰広 野口

昇天—ごめい福を祈る

高橋 哲男 69（博）坪山

小川 スエ 81（利芳）赤谷

春日 スギ 83（喜平）神社町

村山 ヨキノ 84（欣一）伊友

上村 トミ 84（英夫）元町

高橋 カネ 85（文夫）室島

（6月1日から30日 届け出分）

町議会議員一般選挙に係る

お願いとお知らせ

7月15日（火）午後1時30分から、地域活性化センターで開催予定の「町議会議員一般選挙立候補者予定説明会」は、会場の都合で一候補者二名までといたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、8月3日（日）の投票日には、棄権することなく投票をいたしましょう。

休日救急医

7月13日 至誠堂医院（西浦町）
☎ 52-3276

20日 第二藤巻医院（上野）
☎ 68-2018

21日 山口医院（袋町中）
☎ 52-2174

27日 大熊内科医院（山本町）
☎ 52-7066

※ 津南病院（津南）
☎ 65-3161

8月3日 山口医院（下条）
☎ 55-2003

10日 長山病院（津南）
☎ 66-2877

※ 中条病院（中条）
☎ 57-3018

ちいさな展覧会

108

仙田小学校



▲「魚たちのうんどう会」
3年生 登坂 歩さん



▲「宇宙の大バーゲン」
5年生 小林圭子さん



▶「バッタがてんとう虫をねらってる」
2年生 高橋由紀奈さん



▶「ミニ四駆レース」
4年生 斉喜 裕くん



▶「太陽の上でパーベキュー」
6年生 樋口恵美さん



▶「なかよし」
2年生 登坂由英くん
3年生 登坂光義くん

（8月号は）
川西中学校です